2　地理歴史・公民

学校番号	１１９

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校新版　地理Ａ　世界に目を向け、地域を学ぶ（第一学習社） 詳解現代地図（二宮書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・グローバル化の進む世界の国際情勢や、地球環境の変化などの世界規模の課題と、わたしたちが生活する日本、アジアという地域に見られる課題がなぜ、どうして起こっているのか、地理的な視点で学習します。
・どこにどのようなものがどのように広がっているのか、地図から読み取れるようになる力をつけます。そして、そのような広がりには規則性や傾向があるのか、グループワークなどを通して考えを深める活動も行います。

2　学習の到達目標

・現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養う。
・地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、地域性を踏まえ多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身につける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	提出課題 授業態度	定期考査 ノート提出	提出課題	ノート提出 小テスト
	〔主題学習〕 提出課題のパンフレット	〔主題学習〕 授業中のレポート 発表	〔主題学習〕 授業中のレポート 発表	〔主題学習〕 提出課題のパンフレット
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球儀や地図で捉える現代世界	・世界地図の特徴を知ろう ・世界観の広がりと地図 ・国家の領域と領土問題	○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a: 世界観の広がりとともに地図に描かれる内容が変化してきた事を理解し、現在見られる衛星画像や地理情報システムなど新しい地図表現に対する関心をたかめ、役割を理解する。 b: 国家とは何かを考える。また、さまざまな情報手段を活用して世界の領土問題について調べる。 c: メルカトル図法、正積図法、正距方位図法で描かれたさまざまな地図を、地図帳を使って集め、その特徴と欠点を理解し、用途に応じた適切な図法を選択できるようになる。 d: 地球儀上の位置の占め仕方や時差の考え方を学び、時差の計算が出来るようになる。	授業態度 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
	世界の人々の生活を取り巻く地球的環境	・世界的視野から見た地形 ・世界の気候と生活 ・世界の民族・宗教と生活・文化	○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:世界の自然環境は地域的に大きく異なっていることに気づき、現在のような分布になった理由について、関心をもって学習する。 b:世界の自然環境を地形と気候の面から大きく捉え、なぜ差異が生まれるのか考察する。また、各気候帯の雨音図からその地域の気候の特徴を読み取ることができる。 c: 図書館の本やインターネットから、世界の生活・文化を示した写真を探し、地理的環境との関連を読み取ることが出来る。 d: 民族や世界の言語・宗教の分布を知識として身につけ、民族間問題の本質を理解する。	授業態度 定期考査 提出課題 小テスト

2学期	世界の諸地域の生活・文化と環境	・東アジアの暮らしを学ぶ ・東南アジアの暮らしを学ぶ ・南アジアの暮らしを学ぶ ・西アジア・中央アジア・北アフリカの暮らしを学ぶ	○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a:中国の自然と農業を踏まえ第二次世界大戦後営まれてきた人々の生活・文化が，近年の経済発展でどのように変化してきたのかに注目し，中国と日本の相互依存関係についてまとめ，話し合う。 b： 世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解し、その地域の産業や生活・文化にも反映していると気づくことができる。 c: ASEAN の結びつきについて、新聞やインターネットなどから最新の情報を集め、地域の変化を読み取り、東アジア共同体の実現に向けた展望などを理解する。 d:イスラーム・ヒンドゥー教・仏教などのの宗教と密接に関連したアジアの生活と変化について、理解を深める。	・授業態度 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	世界の諸地域の生活・文化と環境	・ヨーロッパの暮らしを学ぶ ・南北アメリカ大陸の暮らしを学ぶ	○	○ ○	○	○	a:移民の国アメリカ・カナダに注目し、アメリカの移民の社会と現在の多文化社会の特徴が、産業・大衆文化の形成にどのような影響を与えてきたかを理解する b:アメリカやヨーロッパなど、現在情勢が刻々と変化する国々について、得た知識と日常生活での出来事を結びつけ、異文化摩擦がおこっている現状に気づくことができ、日本の生活・文化を絶対視せず広い視野から異文化を理解し、尊重することが必要だと考える事ができる c:教科書掲載のワークに取り組み、統計データを地図やグラフに表現することができる d:ヨーロッパの中の自然環境の違いやたどってきた歴史の違い、すなわち地域性を基礎知識として学び、一体化の進むヨーロッパ社会の現状を、EU の結びつきの過程などから理解する	・授業態度 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

3学期	自然環境と防災	・日本の自然と生活 ・自然災害に備えた暮らし	○	 ○	 ○	○ ○	a:生活に影響を与えている気候、局地的な気候について理解し、気候によって異なった特徴を見せる生活・文化について、グループで話し合う。 b: 地域防災力を高めるために個々人が出来る事を積極的に話し合う c: 自らが住む地域のハザードマップをインターネットで検索したり、市役所や町役場で発行しているハザードマップを入手したりして、最も起こりやすいと想定されている災害は何か、また避難時に障害となるところはどこかなど、地域とそこに住む住民とともに減災に向けて意欲的に取り組む。 d:自然災害の多い日本列島で、人々の生活に大きな影響を与える火山災害・水害・地震について、自然現象やこれまで受けてきた災害の歴史を理解する。	・授業態度 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	世界の諸地域の生活・文化と環境	〔主題学習〕 ・世界の国のパンフレット作成 ・国の選定 ・資料収集 ・発表	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	 ○	a:世界の国々の中から、自分が興味・関心のある国を 1 つ選び、地理的事象や生活・文化について意欲的に追及しようとしている b:対象の国の事象を、その国の歴史的観点や地理的条件から考察し、適切に表現している。 c:対象の国の考察をわかりやすく表現するためのグラフや図表など有用な情報を選択し、まとめている。 d:人口・気候・観光地など、対象となる国の基礎的な知識を身につけている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。